

# 「子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラム」 タスクフォース養成研修会 実施要項

(RISTEX社会実装プロジェクト)

1. 趣 旨 不登校や自殺等、子どもたちが抱える心の問題は、全国的にも大きな課題であり、より効果的な予防介入法が求められています。こうした現状を受け、京都府精神保健福祉総合センターでは京都府の事業として、同志社大学や国の機関との共同で「小学生のためのメンタルヘルス予防教育プログラム」の社会実装を進めてきました。

本研修会は、プログラムの普及に向けて、当プログラムの実施・指導ができるタスクフォース（注1）を養成することを目的として開催します。

2. 主 催 京都府精神保健福祉総合センター 同志社大学  
社会技術研究開発センター(RISTEX)（注2）

3. 日 時

前期日程 令和元年 7月26日（金） 午後1時30分～午後4時（研修会A）

令和元年 8月23日（金） 午後1時30分～午後4時（研修会B）

令和元年10月11日（金） 午後1時30分～午後4時（研修会C）

（この日程で3日間すべてのご参加が難しい場合には、後期日程として、北部開催の研修会にご参加頂く事も可能です。また、一部、または、全てを、来年度以降のタスクフォース研修会に受講して頂くことも可能です。）

※**研修会A・B・C3日間**を受講後、タスクフォース終了証が発行されます。

※終了証の発行をもって、プログラムの指導・助言を行うことができます。

4. 会 場 同志社大学 良心館 305号室  
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入（京都市営地下鉄「今出川駅」直通）

5. 内 容 午後1時30分～ 開会あいさつ 京都府精神保健福祉総合センター  
午後1時40分～ 「プログラム内容の解説・体験」  
同志社大学心理学部 教授 石川 信一  
精神保健福祉総合センター 相談指導課長 村澤 孝子  
同志社大学研究開発推進機構 特定任用研究員 肥田 乃梨子  
精神保健福祉総合センター 臨床心理士 小國 真由子  
午後3時40分～ 質疑応答

5. テキスト 当プログラムの子ども用冊子、指導案、技法解説、Q&A集をまとめた、カラーテキスト6冊は、当日、受講者に無料で配布します。(研修会ABCの際にそれぞれ2冊ずつ配布。)
6. 参加対象 国公立私立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員、スクールカウンセラー・心理士・精神保健福祉士 等 100名程度(先着順)
7. その他 別紙「メンタルヘルス予防教育プログラムについて」参照
8. 参加申し込み・問い合わせ先  
京都府精神保健福祉総合センター 相談指導課 小國、村澤まで  
[a-05164@pref.kyoto.lg.jp](mailto:a-05164@pref.kyoto.lg.jp)  
(氏名、所属、職名を記入の上、お問い合わせ、お申し込みください。)  
締め切り 令和元年7月16日(月)午後5時15分

注1：タスクフォースとは、一般的には「緊急かつ重要な任務に従事する精鋭部隊」を意味しますが、このプロジェクトでは、メンタルヘルス予防教育プログラムを普及するために養成された指導者のことを指します。

プログラム実践校からの依頼を受け、現地へ訪問し、プログラム実施を担当する教員に対して指導助言を行うことを業務とします。

タスクフォース業務への謝礼は、時給2000円(交通費別途支給)・・・お受け取りが可能な立場の方のみ・・・と設定しております。

また、ご所属の学校で、プログラムをご指導頂く事も出来ます。

注2：社会技術研究開発センター(RISTEX)は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)内の組織です